

6月定例会議案

※ 特に皆様にお知らせしたい議案を抜粋して報告いたします



議案第64号

磐田市文化会館建設検討委員会条例の制定について

新たな文化会館の建設に関する事項の検討を行う機関として「磐田市文化会館建設検討委員会条例」を制定するものです。委員会は、15名以内で組織し、文化会館の建設位置や規模などを話し合い、平成27年に基本構想を検討し、平成28年に基本計画を検討します。

議案第65号

磐田新駅設置事業基金条例の制定について

新駅は、請願駅という意味合いから、市民・企業から任意で寄附を募り、新駅設置事業に要する費用に充てるために基金を創設するもので、目標額は定めていません。期間は、5年間です。

議案第71号

財産の処分について(豊岡地域福祉センター)

公共施設見直し計画に基づき、旧磐田市豊岡地域福祉センターの建物を社会福祉法人長生会に3,696万4千円に売却処分します。長生会は、現在、隣接する特別養護老人ホームを運営していること及び、当該建物の2階部分で高齢者デイサービス事業を実施していることから、建物を一体的に活用した効果的な福祉サービス事業の提供が可能で、市民サービスの向上が期待されます。なお、1Fでは5月より放課後等デイサービス事業が、利用日が月曜から土曜まで、定員10名で、小学生までの受け入れとして開始されます。

平成27年6月磐田市議会定例会 あしかわ和美 一般質問報告(抜粋)

1 まちづくりを支える公共心の育成について

Q. 学校でどのように行政や選挙の仕組みと役割を教え公共心を育てているか

A. 小学校では、6年生で、私たちの生活と政治の学習の中で、子育ての支援や市議会の仕事、選挙等について学んでいます。中学校では3年生の公民分野で、現在の民主政治と社会、その学習の中で、民主主義や選挙の仕組み、それと役割について学んでいます。ともに最高学年として行政を日常生活と関連づけ、公共心を育てています。

Q. シティズンシップ教育と模擬選挙の実施について認識と課題

A. シティズンシップ教育と模擬選挙の実施は、子どもたちが社会に積極的に参加し、責任と良識ある市民を育てるための教育で、より実証的な社会参加型学習だと認識しています。課題としては、社会参加型の活動を行うような授業時間数の確保ですが、今後、国の動向を注視し、進めていきたいと考えてます。

2016年の夏、参院選から高校生の一部も有権者になり、今後の選挙に向け、対策を検討する必要があるとの視点から、質問しました。



Q. 磐田市合併10周年記念事業「子ども議会」で何を子どもたちに身に付けて欲しいか。

A. 本市教育委員会が掲げる教育目標を具現化する場と考えています。学府や学校で磐田市の将来を考え、磐田市についてより深い見方、考え方ができるようになることまた、磐田の教育道しるべにある、郷土愛の育成にも繋げていきたいと期待しています。

2 磐田市の食育と学校における米飯給食の推進について

学校給食でお米を中心とする日本食のすばらしさを伝え、子どもの味覚食体験が変われば、親になったとき、磐田市の食生活は変わり、市民の健康レベルは向上し、心と体がすこやかに生まれ、その土台ができて初めてゆるぎない学力が身につく、健康に成長してほしいとの思いで質問しました。



Q. 食育の充実への取り組みについての推進について

A. 第2次磐田市食育推進計画で、妊娠期から高齢期までライフステージを7つに区分いたしまして、例えば0歳から五歳児までの乳幼児期では、乳児検診の教室などにおいて、食生活指導の充実を図り、公立保育園・幼稚園ではお箸の持ち方、食べ物教室などの食育教室を開催をし、各園においても、食農体験など食への関心を高めるための取り組みを行っています。

Q. 食育推進のため、さまざまな人たちが関わる必要不可欠です。磐田市の状況は？

A. 市内の高校生を対象にして、NPO法人子どもの森と協働業を通し、健康的な食生活を身につけ実践することを目的に、食に関する知識の習得と望ましい食習慣の実践を目指した事業を実施している。また、ボランティア団体「いわた食育キッチン」では、保育園や幼稚園でのお箸の持ち方教室を初め、料理実習、食事のバランス教室など、年間を通して食育教室を実施、栄養士だけではなく、さまざまな市民の皆さんと協力して食育を進めています。

Q. 米飯給食の現状と今後の計画、課題

A. 本市の米飯給食は、平成22年度から週3回各学期に2回を加えることにより、給食実施回数年間180回のうち114回実施してきました。また今年度からは、さらに学期に1回ずつ米飯の実施回数をふやし、年間117回と拡大し、いずれも磐田産のお米を使用している状況です。

Q. 子どもの肥満の状況と対策について

A. 平成26年度の身体測定等における子どもの肥満度状況は、1歳6カ月児健診では4.2%、3歳児健診で5.8%、公立の保育園児では8.0%、小学生の男子6.1%、女子は5.5%、中学生の男子7.2%、女子7.3%となっている。対策は、乳幼児期から正しい生活リズムを身につけること、保護者も含めて食生活改善の意識啓発を実施など、ライフステージごとに設定したさまざまな取り組みを実践していきたい。

Q. 今後、完全米飯給食を検討される考えはあるか、また課題があるのかお伺いします。

A. 他国の文化を学ぶ献立の必要性もあることや、また今年度から学校給食用のパンが磐田産の小麦を含み全て国産小麦100%となったことにより、地産地消の拡大等も勘案する中で、完全米飯給食の実施は考えておりません。

Q. 日本の伝統的食文化・郷土料理を学ぶ和食の取り組み状況と今後の計画についてお伺いします。

A. 磐田市食に関する全体計画や磐田市学校給食献立年間計画を作成し、食文化を知る献立により、旬の味や地場産品のエビイモコロッケ、行事食として土用のうしの日にウナギを提供するなど、日本のよさを紹介しているほか、黒はんぺんフライや愛知県のみそ煮込みうどんなど、各県の味めぐりを児童生徒に伝え、今後も日本食の伝統的食文化や郷土料理を学ぶ和食に取り組んでよりよい給食の実現を目指して、頑張っていく。

お知らせ

磐田市北幼稚園舎・磐田北小学校プール再築

北幼稚園・北小プールの老朽化・児童数増加を解消するため
磐田市幼稚園・保育園再編計画に基づき再築します(^^)



具体的な内容

建設予定地：磐田北小学校敷地北側 延床面積：約2,000㎡

北小プール：FRP構造・大・小プールを新しく作ります。

現在の北幼稚園の敷地に、共同使用する駐車場を整備します。

事業スケジュール

①基本設計 平成27年度

②実施設計 平成28年度上半期(予定)

③工事 平成28年度下半期～平成29年度(予定)